

USB/eSATAフォーマットモジュール使用方法

USB/eSATAフォーマットモジュールを使って、NASに接続した外付けハードディスクをNTFS/XFS/EXT4形式にフォーマットできます。

注意事項

- ・ 外付けハードディスクをフォーマットした際に、外付けハードディスクのデータは全て消失します。フォーマットは自己責任で行ってください。
- ・ いずれのフォーマット形式を選択しても、GPT(GUID)パーティションで作成されます。Windows XPではGPT(GUID)パーティションを認識できないのでご注意ください。
- ・ 本モジュールでフォーマットしたUSB機器を接続したNASを再起動/シャットダウンする場合、事前にUSB機器をNASから取り外した状態で行ってください。そして、NASの起動完了後にUSB機器を接続してください。USB機器を接続したまま再起動するとフリーズします。
※「NR-5500K G2」において上記の制限はありません。USB機器を接続したまま起動できます。
- ・ 外付けハードディスクのフォーマット形式(EXT4/XFS など)によって空き容量が異なります。NASのバックアップ先としてお使いの場合はご注意ください。

対象製品

N-RAID 5500Kシリーズ/Thecus NAS(ヤノモデル/ファームウェアのバージョン:v5.xx.xx)用>

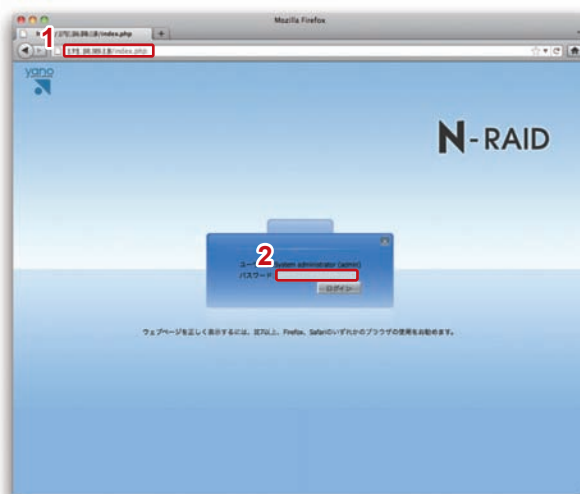
USB/eSATAフォーマットモジュールのインストールと有効化

ログイン

1. WebブラウザでNASのIPアドレスをアドレスバーに入力します。
2. パスワードを入力してadmin画面にログインします。

- ※ パスワードは半角英数で入力してください。
- ※ パスワードの初期値は「admin」です。

※画面はN-RAID 5500Kシリーズのものであります。




ホーム

3. 「アプリケーションサーバー」から「モジュール(のインストール)」をクリックします。

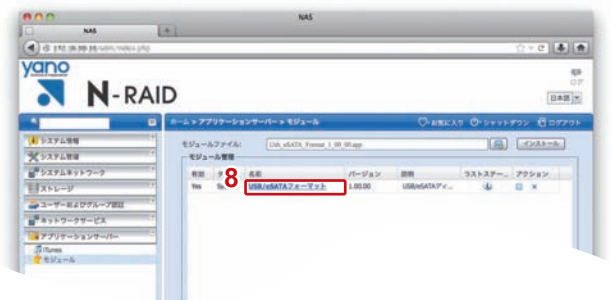
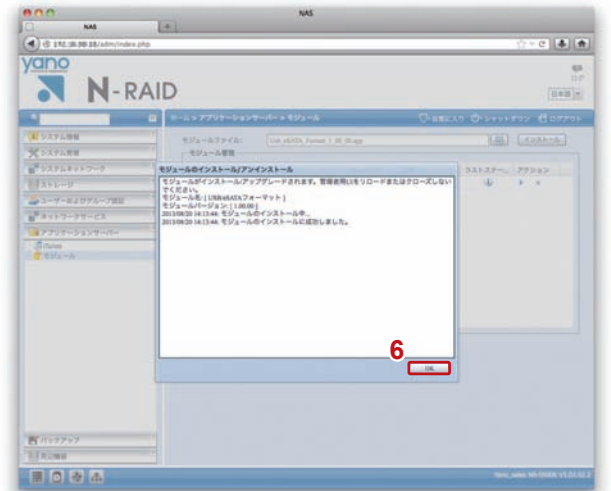


ホーム>アプリケーションサーバー>モジュール(のインストール)

4.  ボタンをクリックし、モジュールファイル (Usb_eSATA_Format_1_00_00.app) を選択します。
 5. 「インストール」ボタンをクリックします。
確認メッセージが表示されるので、「Yes」をクリックします。
 6. インストールが開始されます。
確認メッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。
 7. 右側の【モジュール管理】の中に表示されている「USB/eSATAフォーマット」のアクションボタン「▶」をクリックします。
確認メッセージが表示されるので、「Yes」をクリックします。
- ※ 右側に何も表示されない場合は、弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。
8. モジュールが有効になります。
「USB/eSATAフォーマット」をクリックします。



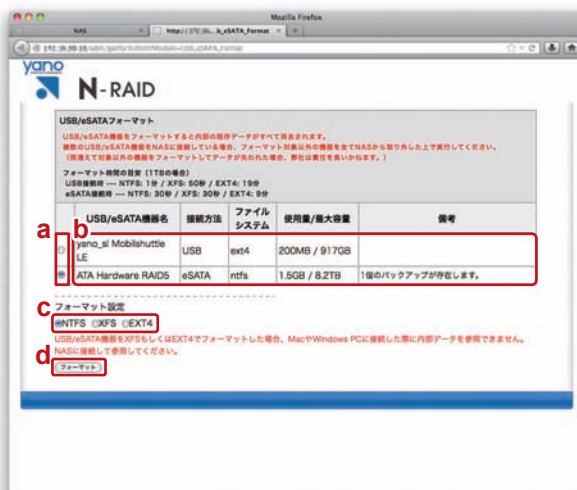
9. 外付けハードディスクをフォーマットする為の新しいウィンドウが開きます。



USB/eSATA 外付けハードディスクをフォーマットする

画面説明

- a フォーマットしたい外付けハードディスクを選択できます。
- b 接続されている外付けハードディスクの情報が表示されています。
- c フォーマット形式を選択できます。
- d クリックするとフォーマットを実行できます。



外付けハードディスクをフォーマットする

新規ウインドウ

1. フォーマットしたい外付けハードディスクを選択します。
2. フォーマット形式を選択します。

フォーマット形式について:

NTFS	Windows PCの標準フォーマットです。緊急時に外付けハードディスクをMac OS X /Windowsクライアントに直接接続して内容の確認、読み取りができます。ただし、文字化けやリソースフォークが欠けてファイルの中身が正常に見えない可能性があります。緊急時を除き、NASに接続したまま共有フォルダーとしてお使いください。
EXT4/XFS	Linux OSのフォーマット形式です。NAS本体のRAIDボリュームにも採用されていますので、お使いのNASとフォーマット形式を合わせてお使いいただけます。Mac OS X /Windowsクライアントに直接接続しても内容の確認、読み取りが出来ません。NASに接続したまま共有フォルダーとしてお使いください。 ※お使いのNASのフォーマット形式はadmin画面→ストレージ→RAID情報から確認できます。 ※NTFSフォーマットで万が一動作がうまくいかない場合、こちらのフォーマットをお試しください。

3. 「フォーマット」ボタンをクリックします。



4. 確認ダイアログが表示されます。フォーマットしても問題なければ「OK」をクリックします。

- ※フォーマットすると外付けハードディスク内の既存データがすべて消去されます。
- ※外付けハードディスクへアクセス中に、NAS本体もしくは外付けハードディスクのインターフェースケーブルを取り外したり、電源をOFFにしないでください。
アクセスに失敗したり、既存データやファイルシステムが損傷する可能性があります。
- ※複数のUSB/eSATA機器をNASに接続している場合、フォーマット対象以外の機器を全てNASから取り外した上で実行してください。
(間違えて対象以外の機器をフォーマットした場合、データが失われます。)
- ※フォーマット中は管理画面を操作できません。
フォーマット時間の目安(1TBの場合)は以下の通りです。
N-RAIDに接続する外付ハードディスクの容量やインターフェースの種類によっては、この目安よりも時間がかかる場合があります。
USB接続時…NTFS:1分/XFS:50秒/EXT4:19分
eSATA接続時…NTFS:30秒/XFS:30秒/EXT4:9分
- ※USB/eSATA機器をXFSもしくはEXT4でフォーマットした場合、MacやWindows PCに接続した際に内部データを参照できません。
NASに接続して参照してください。

5. 一定時間後、フォーマットが完了します。



フォーマットした外付けハードディスクにアクセスする

1. 従来の共有フォルダーと同様、共有フォルダー「usbhdd」にアクセスします。

- ※アクセス方法については本製品に添付のマニュアルP.45「サーバーに接続する」を参照してください。
- ※アクセスできない場合は共有フォルダー「usbhdd」のACLが設定されているか確認してください。

2. 共有フォルダー「usbhdd」の中の該当ハードディスクのフォルダーを開きます。

USB/eSATAフォーマットモジュールをアンインストールする

USB/eSATAフォーマットモジュールを使用した後は必ずモジュールをアンインストールしてください。

そのままにしておくと、管理者が複数いる場合や間違っただけ別のクライアントが操作してしまった場合、データに重要な損害を及ぼす恐れがあります。

※アンインストール後、再びUSB/eSATAフォーマットモジュールを使用したい場合は改めてインストールしてください。

ホーム

1. 「アプリケーションサーバー」から「モジュール(のインストール)」をクリックします。



ホーム>アプリケーションサーバー>モジュール(のインストール)

2. 右側の【モジュール管理】の中に表示されている「USB/eSATAフォーマット」のアクションボタン「×」をクリックします。
確認メッセージが表示されるので、「Yes」をクリックします。
3. アンインストールが開始されます。
確認メッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。
4. アンインストール作業の完了後に【モジュール管理】の中から「USB/eSATAフォーマット」が消えます。

